

## (2) 食料品・飲料等製造業

### ◆ 概要

ここでは、産業中分類の食料品製造業と飲料・たばこ・飼料製造業を合わせて食料品・飲料等製造業とする。

平成 19 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 397 所で、前回（平成 18 年）比較では、17 所増加（対前回増加率 4.5%）している。従業者数は 11,064 人で、前回（平成 18 年）比較では、31 人の増加（同 0.3%）となっている。製造品出荷額等は 1 兆 217 億 37 百万円となって

おり、前回から大幅に増加している。京都市の製造業に占める食料品・飲料等製造業の割合は、事業所数が 12.8%、従業者数は 14.9%、製造品出荷額等は 36.3%となっている。

平成 10 年からの推移を見ると、事業所、従業者数は増減しながらも緩やかな減少傾向にある。製造品出荷額等は、平成 14 年から増加傾向にあったが、平成 16 年をピークに緩やかな減少傾向に転じ、平成 19 年は大幅な増加となった〔表Ⅱ-3-2-1、図Ⅱ-3-2-1〕。

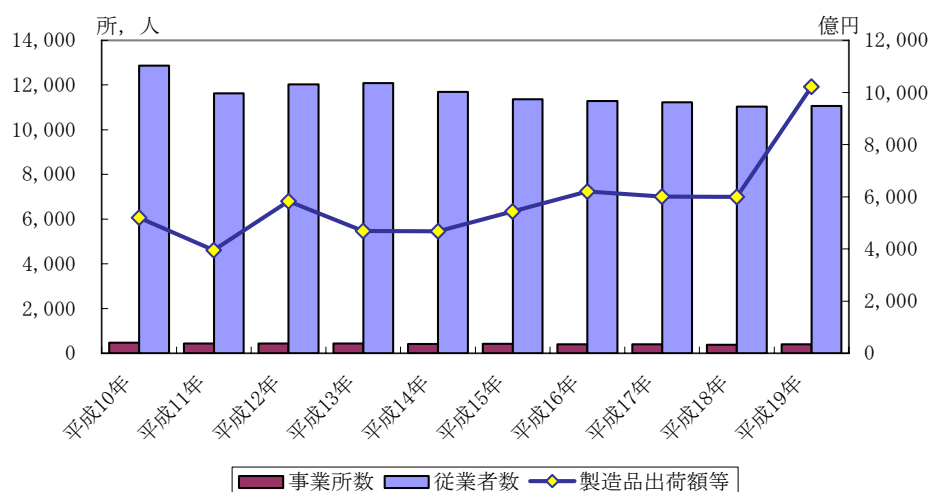
平成 19 年の製造品出荷額等の内訳は、食料品が 1,379 億 19 百万円、飲料・たばこ・飼料が 8,838 億

表Ⅱ-3-2-1 食料品・飲料等製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移（単位：所、人、百万円）

|         | 事業所数 | 従業者数   | 製造品出荷額等   |
|---------|------|--------|-----------|
| 平成 10 年 | 467  | 12,869 | 519,696   |
| 平成 11 年 | 441  | 11,628 | 395,333   |
| 平成 12 年 | 439  | 12,028 | 582,896   |
| 平成 13 年 | 433  | 12,087 | 468,833   |
| 平成 14 年 | 410  | 11,697 | 468,208   |
| 平成 15 年 | 420  | 11,365 | 543,188   |
| 平成 16 年 | 399  | 11,280 | 619,739   |
| 平成 17 年 | 405  | 11,220 | 600,431   |
| 平成 18 年 | 380  | 11,033 | 599,640   |
| 平成 19 年 | 397  | 11,064 | 1,021,737 |

資料：京都市総合企画局「平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

図Ⅱ-3-2-1 食料品・飲料等製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

18 百万円となっており、飲料・たばこ・飼料が大きく伸展している。

#### ◆ 市内の食料品・飲料等製造業の特色

食料品・飲料等製造業の製造品出荷額等を産業細分類別に見ると、清酒製造業が 507 億 52 百万円（構成比 5.0%）で最も多く、次いで生菓子製造業の 287 億 74 百万円（同 2.8%）、他に分類されない食料品製造業の 136 億 42 百万円（同 1.3%）の順となっている〔表Ⅱ-3-2-2〕。

なお、飲料・たばこ・飼料製造業の製造品出荷額等が大きな伸びを示しているが、製造品出荷額等の 82.2%を占める業種の製造品出荷額等データが非公表※となっており、詳細な分析は不可能である。

ただし、データ非公表の細分類のうち、たばこ製造業や蒸留酒・混成酒製造業の 1 事業所当たりの従業者数が大きく、相対的に事業規模が大きいことか

ら、これらの業種が飲料・たばこ・飼料製造業の伸びに大きく寄与していると考えられる。

※ 工業統計調査では、分類別の事業所数が 2 以下の場合には、秘匿措置として、当該分類の製造品出荷額等のデータを非公表としている。

表Ⅱ-3-2-2 食料品・飲料等製造業の主な産業（細分類）別事業所数、従業者数、製造品出荷額等  
(単位：所、人、百万円、%)

|                       | 事業所数 |         | 従業者数   |         | 製造品出荷額等   |         |
|-----------------------|------|---------|--------|---------|-----------|---------|
|                       |      | 構成比 (%) |        | 構成比 (%) |           | 構成比 (%) |
| 食料品・飲料等製造業            | 397  | 100.0   | 11,064 | 100.0   | 1,021,737 | 100.0   |
| 生菓子製造業                | 68   | 17.1    | 2,040  | 18.4    | 28,774    | 2.8     |
| 他に分類されない食料品製造業        | 57   | 14.4    | 1,100  | 9.9     | 13,642    | 1.3     |
| その他のパン・菓子製造業          | 28   | 7.1     | 415    | 3.8     | 3,643     | 0.4     |
| 野菜漬物製造業（缶詰、瓶詰、つぼ詰を除く） | 25   | 6.3     | 1,187  | 10.7    | 16,145    | 1.6     |
| めん類製造業                | 24   | 6.0     | 378    | 3.4     | 5,715     | 0.6     |
| 清酒製造業                 | 22   | 5.5     | 892    | 8.1     | 50,752    | 5.0     |
| ビスケット類・干菓子製造業         | 20   | 5.0     | 458    | 4.1     | 6,400     | 0.6     |
| そう（惣）菜製造業             | 19   | 4.8     | 612    | 5.5     | 7,688     | 0.8     |
| 豆腐・油揚げ製造業             | 18   | 4.5     | 580    | 5.2     | 9,498     | 0.9     |
| 米菓製造業                 | 17   | 4.3     | 351    | 3.2     | 3,169     | 0.3     |

資料：京都市総合企画局「平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

なお、細分類については主なものを取り上げている。

## ① 清酒製造業

市内の清酒製造業は、そのほとんどが伏見区に集積している。伏見区には、長年の歴史の中で培われた醸造技術や良質な水が豊富にある。江戸時代には京と堺を繋ぐ水陸運の要所として栄え、現代に残る清酒製造業なども創業し醸造地基盤を形成した。明治時代後半には、国内有数の清酒醸造地として、兵庫県の灘と並び称されるまでの地位を確立した。平成19年工業統計調査結果報告(従業者4人以上の事業所)によると、京都市の清酒製造業は事業所数22所、従業者数892人、製造品出荷額等507億52百万円であり、また、平成17年度国税庁統計年報書によると、伏見地区の酒税課税数量は112,909キロリットルと減少気味ではあるが、全国に占める割合は15.1%となっており、数量は減少しつつも割合は増加している。下降気味な兵庫県灘地区の数値とは対照的に、堅調な推移を見せている〔表Ⅱ-3-2-3〕。

総務省の平成20年家計調査年報によると、全国における酒類全体の消費動向は減少傾向にある。「清酒」の消費も減少傾向にあり、平成16年からの減少率は14.1%となっている。反して、「焼酎」、「その他の酒類」の消費は増加しており、平成16年から共に堅調に増加している。これは、焼酎やリキュール類等が堅調に消費者に受け入れられていることと、各メーカーの商品多様化の影響が反映している〔表Ⅱ-3-2-4〕。

このように、酒類業界は若年層の飲酒離れ、高齢化に伴う飲酒量の減少、飲酒運転に対する罰則の強化、健康志向の高まりなど、取り巻く環境は厳しいものの、消費者の嗜好多様化を背景に、焼酎市場と発泡酒等の低アルコール飲料市場が拡大傾向にあり、大手各社はアイテムの多様化を進めるべく新商品開発に力を入れている。

表Ⅱ-3-2-3 酒税課税数量（清酒）に占める伏見酒造業の比重の推移

(単位：kℓ, %)

|         | 平成13年度             | 平成14年度             | 平成15年度             | 平成16年度             | 平成17年度             | 対13年度伸び率 |
|---------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------|
| 全 国     | 983,807<br>(100.0) | 897,537<br>(100.0) | 841,404<br>(100.0) | 753,011<br>(100.0) | 729,686<br>(100.0) | -25.8    |
| 伏 見 地 区 | 126,140<br>(12.8)  | 120,544<br>(13.4)  | 127,517<br>(15.2)  | 114,719<br>(15.2)  | 112,909<br>(15.5)  | -10.5    |
| 灘 地 区   | 287,260<br>(29.2)  | 265,902<br>(29.6)  | 222,653<br>(26.5)  | 197,991<br>(26.3)  | 190,276<br>(26.1)  | -33.8    |

資料：全国「国税庁統計年報書」

伏見地区、灘地区の数値については、大阪国税局からの聞き取りに基づく。

注：「灘」は西宮、芦屋、灘の税務署管内の合計、「伏見」は伏見税務署管内

( ) 内は全国に占める割合

表Ⅱ-3-2-4 全国の酒類の消費動向の推移

(単位：円, %)

|           | 平成16年  | 平成17年  | 平成18年  | 平成19年  | 平成20年  | 対16年伸び率 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 酒 類 全 体   | 40,045 | 39,555 | 37,933 | 39,358 | 39,340 | -1.8    |
| 清 酒       | 7,048  | 6,907  | 6,569  | 6,407  | 6,051  | -14.1   |
| 焼 酎       | 5,508  | 6,030  | 5,819  | 6,204  | 6,441  | 16.9    |
| ビ ー ル     | 15,996 | 15,015 | 14,601 | 15,407 | 14,725 | -7.9    |
| ウ イ ス キ ー | 1,301  | 1,200  | 1,055  | 1,085  | 1,020  | -21.6   |
| ワ イ ン     | 2,369  | 2,274  | 2,002  | 2,308  | 2,075  | -12.4   |
| 発 泡 酒     | 5,709  | 5,272  | 4,565  | 4,884  | 5,278  | -7.5    |
| そ の 他     | 2,112  | 2,856  | 3,323  | 3,065  | 3,750  | 77.6    |

資料：総務省「家計調査年報（1世帯当たり品目別支出金額）」

## ② 生菓子製造業

京菓子の歴史は古く、口伝によると、奈良時代に朝廷の御用を勤めた後、平安遷都に伴って京に移転した事業所も存在するほどである。このように、長い歴史と伝統を誇る京菓子は、茶道とともに発達し、御所の年中行事や神社仏閣の供饌（ぐせん）菓子として供され、現在でも華麗さや品質の高さで全国的に親しまれている。

平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、京都市の生菓子製造業は事業所数68所、従業者数2,040人、製造品出荷額等287億74百万円である。

近年の製造品出荷額等の傾向を見ると、平成14年までは減少傾向が続き、平成15年を機に増加に転じている。その後も増加基調で推移していたが、平成19年で再び減少に転じている〔表Ⅱ-3-2-5〕。

平成20年の菓子類の全国の消費動向を平成16年と比較すると、菓子全体で4.5%と微増で推移している。なかでも、チョコレートの伸び率が36.4%と高くなっている〔表Ⅱ-3-2-6〕。

表Ⅱ-3-2-5 生菓子製造業の製造品出荷額等の推移

（単位：万円）

|          | 製 造 品 出 荷 額 等 |
|----------|---------------|
| 平 成 10 年 | 3,202,946     |
| 平 成 11 年 | 2,786,283     |
| 平 成 12 年 | 2,713,829     |
| 平 成 13 年 | 2,517,018     |
| 平 成 14 年 | 2,470,089     |
| 平 成 15 年 | 2,618,307     |
| 平 成 16 年 | 2,620,022     |
| 平 成 17 年 | 2,854,579     |
| 平 成 18 年 | 3,135,523     |
| 平 成 19 年 | 2,877,373     |

資料：京都市総合企画局「平成19年工業統計調査結果報告（従業員4人以上の事業所）」

表Ⅱ-3-2-6 全国の主な菓子類の消費動向の推移

（単位：円，％）

|         | 平成16年  | 平成17年  | 平成18年  | 平成19年  | 平成20年  | 対16年伸び率 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 菓 子 全 体 | 64,201 | 63,890 | 64,088 | 64,873 | 67,083 | 4.5     |
| 和 生 菓 子 | 10,319 | 10,323 | 10,506 | 10,543 | 10,670 | 3.4     |
| 洋 生 菓 子 | 14,208 | 13,949 | 14,373 | 14,790 | 15,018 | 5.7     |
| せ ん べ い | 4,166  | 4,251  | 4,406  | 4,410  | 4,639  | 11.4    |
| ビスケット   | 2,640  | 2,506  | 2,516  | 2,580  | 2,908  | 10.2    |
| スナック菓子  | 3,336  | 2,791  | 2,798  | 2,898  | 3,293  | -1.3    |
| キャンデー   | 1,884  | 1,912  | 1,840  | 1,805  | 1,986  | 5.4     |
| チョコレート  | 3,453  | 3,620  | 4,424  | 4,413  | 4,710  | 36.4    |
| アイスクリーム | 5,812  | 5,781  | 5,575  | 5,822  | 5,945  | 2.3     |
| 他 の 菓 子 | 18,384 | 18,023 | 17,651 | 17,611 | 17,913 | -2.6    |

資料：総務省「家計調査年報（1世帯当たり品目別支出金額）」